

2021年4月5日

南山大学「人間の尊厳賞」の創設について

学長 ロバート・キサラ

南山大学は、本年、前身の南山外国語専門学校（旧制）創設から75年の記念の年を迎えています。その創設から3年後、戦後の学制改革により、名古屋外国語専門学校と改称していた同校は、新制の南山大学に生まれ変わり、新たなスタートを切ることになりました。その際、後に南山学園理事長に就任するボルト神父の発案により、本学は、教育モットーとして「*Hominis Dignitati*（人間の尊厳のために）」を掲げることとしました。

私たちは、これを、一人ひとりがまず自分の尊厳に気づき、その徹底を図る一方、他者の尊厳を認め、共に、人間の尊厳が尊重され推進される社会づくりに役立つ、という生き方を培うものだと説明しています。中学・高校においても同様に「人間の尊厳のために」と言っていますが、附属小学校では、これを「かけがえのない あなたと私のために」と表現しています。いずれにしましても、南山大学および南山学園が教育モットーとして掲げるこの言葉は、簡潔ながら力強く、しかもその意義は深いと思います。学窓を離れ半世紀近く経った卒業生の皆さんが、あらためて母校の教育モットーに感激して下さるのは、まさにそうした側面を表すものだと言えましょう。

私たちは、大学創立75周年という記念の年を迎えるに際して、これまでの大学の発展に感謝するとともに、この建学の理念に立ち返り、南山大学が果たすべき使命を再認識しなければなりません。そこで、私は、この記念すべき年に、南山大学「人間の尊厳賞」を創設することとしました。一私立大学のささやかな試みですが、営利組織ではできない、高等教育機関たる大学ならではの試みだと考えています。「人間の尊厳のために」という理念の実現に多大な貢献を果たしている人物、組織等を表彰することにより、本学の理念をあらためて広く社会に理解して頂き、学内外の人々とこれを共有したいと考えています。

皆様方のお力添えを賜り、南山大学にふさわしい賞に作り上げていく所存です。ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。